

## 大槌復興まちづくり住民会議 議事録

### 防災について

- 安渡・須賀町などは、今までも大潮のときには水があふれた。堤防を5mより高くしてほしい。
- どんな堤防を作っても自然には勝てない。堤防、道路を2・3段階にしてほしい。
- 堤防の作り方が悪い。堤防を高くするだけでなく、盛り土にして道路をつけるとよい。
- 波が見えたから逃げたので助かった。波を見ていない人はたくさん亡くなった。
- 壊れた堤防は、みな柱が入っていなかった。不正な工事があつたに違いない。
- 今回の津波で被害を受けたところを明確にした上で、国道をかさ上げして津波を防いだらどうか
- いざという時に、どう逃げるかという意識を育てて、伝えていかななくてはならない。
- 避難路を複数確保するのが重要。

### 住宅について

- 漁師は海が見えるところに住みたい。避難路さえ確保できれば、今までと同じ所に住みたい。
- 水が来るところには住みたくない。盛り土をするか、高台移転を。
- 山を削って100戸、200戸を作るという案は、理想像に過ぎない。もっと現実的な話をすべきだ。
- 津波の時に逃げる場を作りながら、まちづくりを考えたほうがよい。
- 浸水地域だから全部住めないというのは適切でない。場所によっては建築を許可してほしい。
- 高台に家を作ったけど、津波で流された。元の土地には住みたくない。
- 高台に住んだら、隣近所の付き合いが無くなってしまう。
- 私は今のところに住みたい。みんなが高い所に住めるわけではないので争いになる。
- 避難タワーができるのなら、今のところに住みたい。
- 保障さえあつたら、今のところに家を建てたい。時間がかかったら、住民がいなくなる。
- 田んぼを宅地にしてもらって、そこに住みたい。
- 堤防にお金をかけるぐらいなら、山を削って高台に家を建ててほしい（堤防は低くてよい）。
- 山を削るとしても、何年もかかる。そのあいだに人がいなくなってしまう。

### 産業

- 食っていくための方法を考えてほしい。鵜住居に工業団地を作ったらどうか。
- 仕事を作ってほしい。
- 福祉のまちにしたらどうか？海で魚を取り、畑で採れた野菜を食べさせる。外からも人を呼べる。
- 大槌の年収は170万。これでは子供に住んでくれと言えない。産業誘致が重要

### 病院・医療について

- 県立病院を、大槌と山田の境の四十八坂に作ってはどうか
- 大槌を医療天国にする。町内のドクターを一か所に集め、宿泊をセットにした検診体制を
- 町内の人に利便性だけでなく、国内外から人を呼べるようにする

### まちの将来構想

- 海と自然を活かした町づくりに。海の近くは運動場や体育館にして、寺野の運動公園を住宅地にする
- 東京大学の研究施設等を活かした、研究学園都市に
- 3段階のまちづくりの提案（盛り土、道路を作る、居住）
- 5年以内に三陸道が開通するので、仙台や花巻が通勤圏内になるという利点を活かす
- 城山の山を削れば、小槌川と大槌川とが一体になったドーナツ状の町ができる
- 大槌は2つの川があって、その間に発展してきた。歴史を踏まえない大槌の将来はない。
- 大槌の将来をこうしたいという方針を出して、国にむしろ旗をたてて持っていくことが必要。
- 海を活かしたまちづくりをしてほしい。水産加工場をどうするか？
- 陸前高田では松林を再建するという話がある。
- 町の規模はどうか。人口が2万いる大槌にしてほしい。
- 釜石は、大槌を吸収してやるという感じ。山田との統合を考えたらよい
- 自然エネルギーの活用（エコタウン構想）

## その他

- ■■■ は誰も町に出て話を聞かない。■■■ といえる資格のある人間がどれだけいるか。
- 役場や病院、商業地などの主な機関はどこにできるのか。早く復興計画を立ててほしい
- 町の復興計画にある基本方針の4つの素案は当たり前のこと。もっと先に進むべき。
- 働く場所がないと、若い人が出て行ってしまう
- これまでのローンがあるので、新しく家を建てられない。国の対応を望む
- 内陸への避難路の確保のために道路を整備してほしい
- 青写真を作るには、コンサルを通さないでほしい。コンサルは町のことを何も知らない。

## 具体的な要望

### <仮設住宅について>

- 仮設住宅に当選したが住んでいない人がいる。空き部屋は再抽選をするべき
- 障害者、高齢者、子どものいる人を優先するというが、優先になっていない
- 抽選の仕方が不透明。しっかりと公開してほしい
- 希望があれば、仮設住宅を住民同士で入れ替えられるようにしてほしい。
- 仮設住宅は履物を外に置かざるを得ない。玄関をもっと大きくしてもらいたい。
- 仮設住宅の玄関に下駄箱を設置してほしい
- 窓には網戸があるが、玄関には網戸がない。玄関にも網戸が欲しい。
- 仮設の居住期間が終わった後に、仮設を安くもらいうけることができないか、国に掛け合ってもらいたい。
- 大家族で2つの部屋に入居している場合、2つの部屋の壁をぶち抜くことを許可してほしい。
- 仮設が完成すると、配給が止まる。高齢者の家族などは、その後が心配。要検討するべき
- 住民と一緒に話し合える場が欲しい。(仮設コミュニティセンターの解放・鍵を住民に預けて欲しい)

### <その他>

- 町の各地に、海拔何メートルかを示してほしい。そうすれば、住宅を作るときに参考にできる。
- ボランティアの人々が遠野や花巻に泊まるのではなく、大槌に泊まれる様、宿泊施設がほしい
- 町は住民に情報を出さない。もっと住民に情報を出してほしい。
- 津波の体験を記録することが必要。津波の体験集を出してほしい。
- とにかく祭りをやって欲しい
- 町のどこでも防災放送が悪かった。ほとんど何も聞こえなかった。見直しをして欲しい。
- 防災無線で緊急時には、「こちらは防災・・・」などと前置きはいらぬ。
- 避難訓練・避難場所・ハザードマップをいち早く見直しするべき
- 街灯がないので夜は真っ暗で歩けない。街灯を一日でも早く